



南十字星

2024 年度 第 9 号

令和 7 年 3 月 26 日

クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校

校 長 栗原 和彦

E-mail:jschoolgc@jsgc.org.au

2024 年度が無事終了しました！お世話になりました！

サイクロンの影響で、予定より一週間遅れましたが、2024年度の教育活動を無事終了することができました。保護者の皆様方には今年度も、お子様の送迎や各種行事へのご協力、ボランティア活動などのお力添えをいただきました。本当にありがとうございました。

3月22日には、第31回の卒業式を行い、幼稚部18名、小学部6年29名、中学部3年14名に卒業証書を授与しました。しっかりとした態度で式に臨む卒業生の姿がとても素晴らしかったのですが、補習校での学びが最後となる中3生の引き締まった表情が特に心に残りました。卒業生たちの次のステージでの活躍を引き続き応援していきます。

次年度のスタート(始業式)が4月12日です。気分を新たに、一つ上の学年で充実した補習校での生活を送れるよう、全職員で準備を進めていきます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



第 31 回クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校卒業式

3月22日、第31回の卒業式を行いました。在校生や職員、保護者の皆様に見守られる中、しっかりとした態度で式に臨む卒業生たちの姿がありました。卒業をお祝いするあたたかな雰囲気会場全体に広がる、とても素晴らしい式でした。ゴールドコースト校が積み重ねてきた歴史の重みを感じました。

【卒業式の様子】



卒業生入場 (Waltzing Matilda の曲と共に入場 会場のみんなに見守られ、やや照れくさそうな卒業生)



卒業証書授与(幼稚部から中3まで、素晴らしい姿勢で証書を受け取ることができました)



在校生代表 送辞



卒業生代表 答辞



歌「旅立ちの日に」



「卒業の詩」(暗唱の発表 将来の夢 感謝の言葉)卒業生一人一人の成長を感じる一場面でした

在校生からの送辞 ～在校生代表 有賀玲音さん～

送 辞

日に日に暑さも和らぎ、秋の訪れを時折感じられる時期となりました。卒業される幼稚部、小学部六年生、中学部三年生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心よりお祝い申し上げます。

幼稚部の皆さん、元気いっぱい楽しく学ぶ姿に、私たちはいつも元気をもらっていました。補習校祭りの舞台では、パラシュートを使った演技を楽しそうに披露する姿がとてまかつこよかったです。きっと一生懸命練習したのだらうなと思いました。4月からははいよいよ一年生ですね。たくさんお友達をつくり、勉強も頑張ってください。

次に小学六年生の皆さん。補習校祭りでは、みんなが楽しめるクイズを作り、会場を盛り上げていました。また、午後の模擬店ではかき氷を販売し、クラスの雰囲気の良いが伝わってきました。皆で協力する姿がとてま輝いていました。この素晴らしいチームワークを、中学校でも活かせることを願っています。

小学校から中学校への進学は、とても大きな一歩です。皆さんの多くは、補習校はもちろん、現地校でもハイスクールへと進学し、さまざまな環境の変化を経験していることでしょう。勉強はもちろん、課外活動や友人関係など、時にはつまづくこともあるかもしれませんが、ですが、それと同じくらい、楽しい出来事や素晴らしい学びの機会がきつとたくさんあります。小学校生活で築いた素晴らしい仲間との思い出とともに、力強く羽ばたいてください。

最後に、中学三年生の皆さん。先輩方との思い出を振り返ると、いつも私たちの背中を押してくださっていたことに改めて気づきます。特に運動会では、とても暑い中、一生懸命競技に参加し、大きな声で全力で応援している姿が印象的でした。補習校祭りでは、「笑点」で私たちを笑わせてくれ、早口言葉のパフォーマンスもかつこよかったです。どんなときでも前向きに頑張る先輩方の姿は、私たちの目標でした。

先輩方が卒業されるのは寂しいですが、4月からは私たち中学2年生がリーダーとなり、補習校をさらに素晴らしい学校へと導いていきたいと思ひます。そして、先輩方のように補習校の輝かしい歴史の1ページを作り上げていけるよう、日々懸命に取り組んでいくことを誓ひます。

卒業生の皆様のご健康と、これからのさらなるご活躍を祈念して、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和7年3月22日

クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校

在校生代表 有賀玲音

卒業生からの答辞 ～卒業生代表 塚本ブランストン麻紋 さん～

答 辞

夏の暑さも和らぎ、心地よい秋風が吹く季節となりました。本日は、私たち卒業生のために、このような温かい卒業式を開いていただき、心より感謝申し上げます。

「どうしてここまでして日本語を学ぶのだろう」

そう思ったことが何度もありました。

平日は現地校、土曜日は補習校。宿題に追われ、テストに悩み、作文が書けずに手が止まる日もありました。

実は、私は小学一年生の時、一度補習校を辞めました。日本語が苦手で、土曜日が憂鬱だったのです。

しかし、翌年の運動会で先輩たちが全力で競技に挑み、仲間と笑い合う姿を見て、心が動かされました。

リレーで最後まで走り抜く姿。応援席に響く大きな声。そして、競技が終わった後の笑顔。

「私もあんなふうになりたい！」そう思い、もう一度補習校に戻る決意をしました。

そして今年、校長先生が「チャレンジ 2024 夢の実現」というテーマを掲げてくださいました。

今まで憧れていた先輩たちのように、成長したい。その思いを胸に、勉強も行事も全力で挑むことができました。

補習校で学んだのは、勉強だけではありません。先生方は、日本の文化や伝統の大切さを教えてくださいました。行事を通じて、日本人としての心を育むことができました。

また、共に過ごした仲間たちは、ただのクラスメイトではなく、支え合い、高め合える大切な存在です。毎週会うのが当たり前だった日々が終わるのは寂しいですが、この絆はこれからも一生変わりません。

これから私たちは、それぞれの道を歩んでいきます。楽しいことばかりではなく、壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、補習校で学んだ努力する力が、きっと私たちを支えてくれます。

そして、ここからが本当の「チャレンジ」の始まりです。

この経験を力に変え、それぞれの夢の実現に向かって進んでいきます。

楽しみにしていた卒業式のために日本からオーストラリアに来ましたが、サイクロンの影響で延期となり、出席できなくなったことがとても残念でした。それでも、大きな被害があった中で、みんなが無事だったことが何よりも幸いです。さらに、先生と運営委員会の方々のおかげで、映像で答辞を述べる機会をいただき、本当に感謝しています。

最後に、補習校を陰で支えてくださった運営委員会、保護者会の皆様、たくさんの教えをくださった先生方、毎週送迎し励ましてくれた保護者の皆様、そして共に学んできた仲間たちに、心から感謝申し上げます。

本日は、本当にありがとうございました。

令和7年3月22日

クイーンズランド補習授業校ゴールドコースト校

卒業生代表 塚本ブランストン麻紋

全校朝会時のスピーチ ※体験なども交え自分の言葉でスピーチしました。

中3スピーチ「2月22日発表」

木村 賢大さん

みなさんこんにちは、僕は今年新しい学校に入りました。その学校は、ここ、All—Saints です。その前は Varsity で学校を通っていました。だけど、Varsity とちがって All—Saints は Private School なので色んな 新しいことがありました。まずは Sports、Varsity では9年生になったら Sports はやりたい人がやってもいいという感じになっていたけれど、All—Saints ではみんなが毎週2回はほかの学校とたいかいする Sports をやって週2回は水泳やほかの Sports をやらないといけないようになっているのでかなりめんうどくさいです。だけど、All—Saints では Varsity でない図書館や Locker があって、Varsity とくらべて Staff と先生はとっても優しくて学校の外のしゅみとかも応援したり手伝ったりして

もらって、とてもありがたいです。Varsity もいい学校でそこでもたくさん近い友達ができただけ、これから All-Saints で
の学校生活もとても楽しみにしています。ありがとうございます。

校長からのひと言 「チャレンジ2024 ～夢の実現～」

4月の始業式からずっと言い続けてきた今年度のテーマも、いよいよ終了しました。子供たちのチャレンジを引き出すことに少しでも役立ったのであれば、とても嬉しく思います。自身の夢や理想の実現に向けてチャレンジするということは、今後大切にしてほしいという思いから、卒業生へのはなむけの言葉としても使いました。何か困難に遭遇した時、心の中で「チャレンジ！」「夢の実現！」とつぶやき、勇気を奮い立たせるおまじないにでもなればとも思っています。
新学期からは、また新たなテーマで1年間子供たちと共に頑張ろうと思っています。



今後の予定（4・5月）

4月12日 第1学期始業式 学級ガイダンス

4月19日 ※イースターホリデーのため補習校はありません

4月26日 入学式

5月 3日 通常授業

5月10日 こどもの日集会

5月17日 社会科学習日(朝の活動の時間)

5月24日 授業参観 保護者会総会

5月31日 通常授業

